

■ ひらか きそ
平鹿リンゴの基礎づくり

藤原 利三郎

ふじわら りさぶろう

出身地 湯沢市（旧稲川町）

1868年（明治元年）～1935年（昭和10年）

いとうけんきちの教えを受け、りんごさいばいを始める。ますだ町のまるとさんろくかいこんちよぞうこ貯蔵庫を建て、ちよぞうこ組合組織をつくるなど、しゆわんはつき農業経営にも手腕を發揮した。もてぎかめろく六の三男。



年譜

- 1868年 湯沢市（旧稲川町）に生まれる。旧姓・茂木。
- 1892年 伊藤謙吉にりんごさいばい栽培を習い、たくち宅地を利用しりんごなえ苗の植え付けに着手。
- 1901年 真人山麓開墾地にりんごを植栽。
- 1910年 開墾地を拡大。「応鷹園」と名付ける。
- 1921年 貯蔵庫2棟を建設、値崩れを防止する。
- 1925年 応鷹園りんご販売購買利用組合を結成。
- 1931年 ゴールデンデリシャスを県内に流行させる。
- 1935年 横手市（旧平鹿町）で没。66歳。